

礼文高校の校訓のひとつである「進取」。
自分から進んで物事をするその姿勢を
カリキュラムに色濃く取り入れ、
実体験を通じた授業を積極的に行っています。

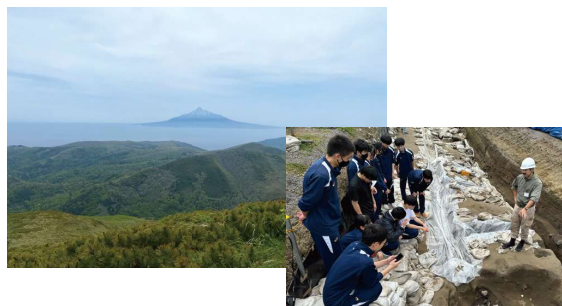


礼文ならではの**特色あるカリキュラム**で、**学ぶ意欲を刺激**。

フィールドワーク

礼文島の教育資源を活用した授業を行います。

- 礼文に自生している植物やウニを用いた染め物(家庭科)
- 手作りルアーや野外炊飯など自然を深く味わう活動(体育)
- 残したい礼文島の文化について体験を通じて学ぶ(社会)



高山植物

礼文島に生育する高山植物群を中心とした生物の観察、実験、実習を通して、礼文島の自然について広く学び、自然保護について科学的に探究する能力を養います。また、学習のまとめとして、高山植物の写真を使用したカレンダーやパンフレットを作成します。



礼文の自然と観光

礼文島の自然と観光について学ぶとともに、自然保護や観光業の課題解決に向け、情報を収集・分析し、探究する力を養います。高校花壇での高山植物の育成や、高山植物ガイド実習、観光パンフレットの作成などを通じ、礼文島の魅力を発信していきます。



生活産業基礎

衣食住やヒューマンサービスに関する生活産業・職業への関心を高め、必要な知識・技術を習得し、これからの生活産業を創造する力を育みます。R7年度に行った食生活産業の学習では、特産物の昆布を使った食堂のメニューの考案を行いました。



観光大使活動

礼文島観光協会から観光大使の委嘱を受け、見学旅行先で礼文島のPRを行います。礼文島のパンフレットや昆布あめ、高山植物の種等を配付するなど、礼文の自然の豊かさを広める活動です。「生活産業基礎」「礼文の自然と観光」の授業の中で準備を行います。

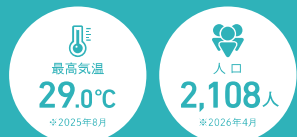
食文化

食文化の成り立ちや日本と世界の食文化について理解し、礼文島の食文化の伝承と創造について課題を設定し、その解決を行います。ホッケの加工品を柱として行っています。地元ならではの美味しい食べ方を知り、その伝承と魅力を高めるアレンジレシピを考えます。



太古の自然が残る 日本最北の離島、礼文島。

北海道北端の稚内市より西方59kmの日本海に位置する離島、礼文島。アイヌ語の「レブシリー沖の島」が語源で、北海道では稀にみる澄んだブルーの海を有した、人口約2,100人の小さな島です。日本海側のため対馬暖流の影響を受け、内陸の気候と比べると比較的温暖です。また、オホーツク海から流入する流氷の影響もほとんどなく、夏期は冷涼で冬期は温暖となり、本州ほど四季の区別のない気候です。



高山植物が咲き誇る花の浮島

春から秋にかけて、およそ300種類の花々が咲き乱れ「花の浮島」とも呼ばれています。本州では約2,000mの山岳地帯でないと見られない希少な高山植物が海拔0mから見ることができ、固有種も多数存在する珍しい島です。

古代のロマン溢れる最北の縄文遺跡

これまでに55ヶ所もの遺跡が見つかった礼文。国の重要文化財に指定された縄文の出土品、北海道ならではのオホーツク文化やアイヌ文化の遺跡に接することができるのは礼文だからこそ。数千年前から人々が行き交う北の島のロマンがあります。



3年間の段階的な教育カリキュラム

	1年	2年	3年
礼文島の研究	高山植物	生活産業基礎	食文化 フィールドワーク
地域と協働した観光地域づくり			礼文の自然と観光
英語力を活かした情報発信	国際理解 海外交流事業 + ロサンゼルス留学(2週間)	ALTを活用した外国語授業の充実	

は選択授業